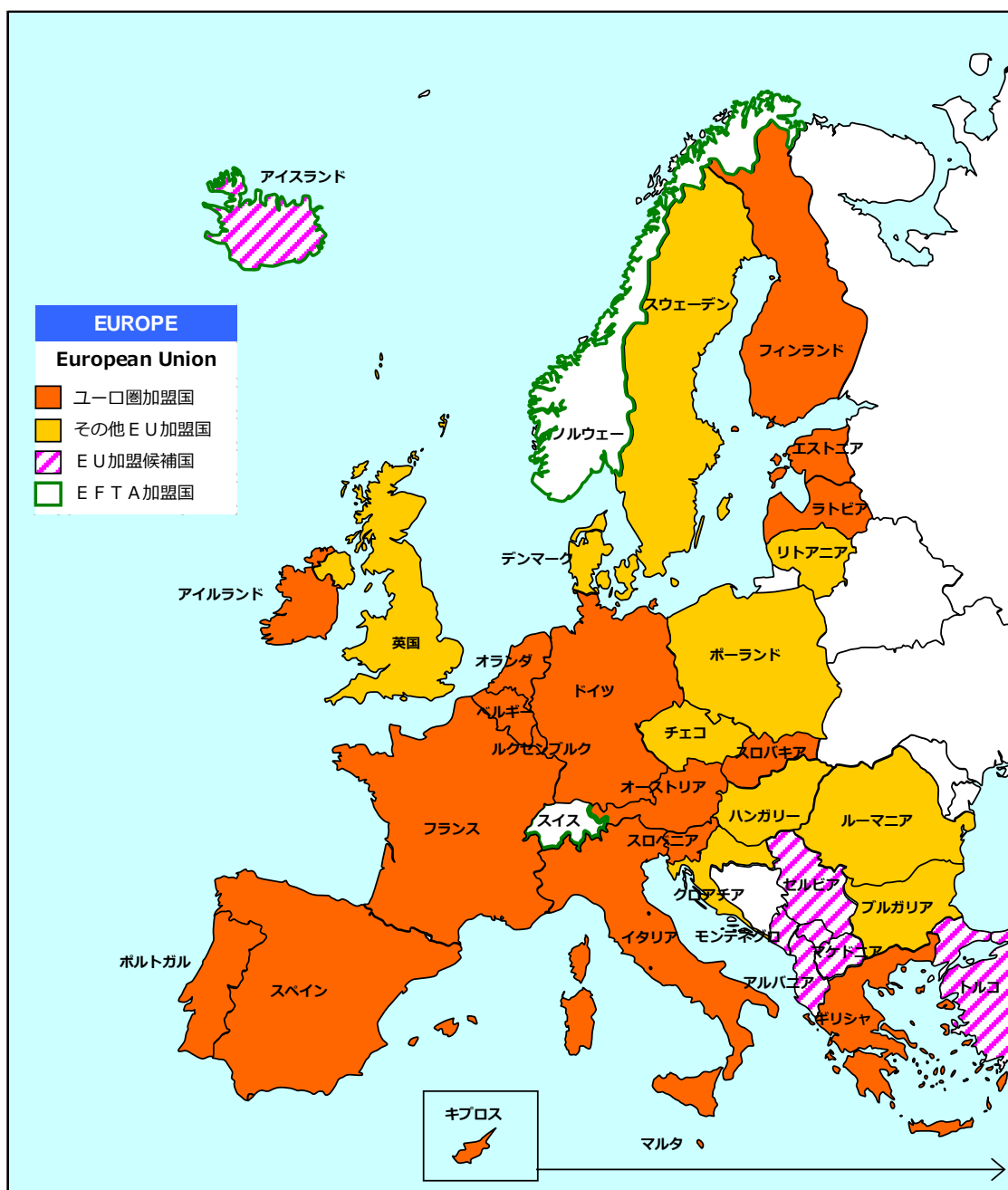


2014年9月19日 全13頁

欧州経済アップデート (2014.9)

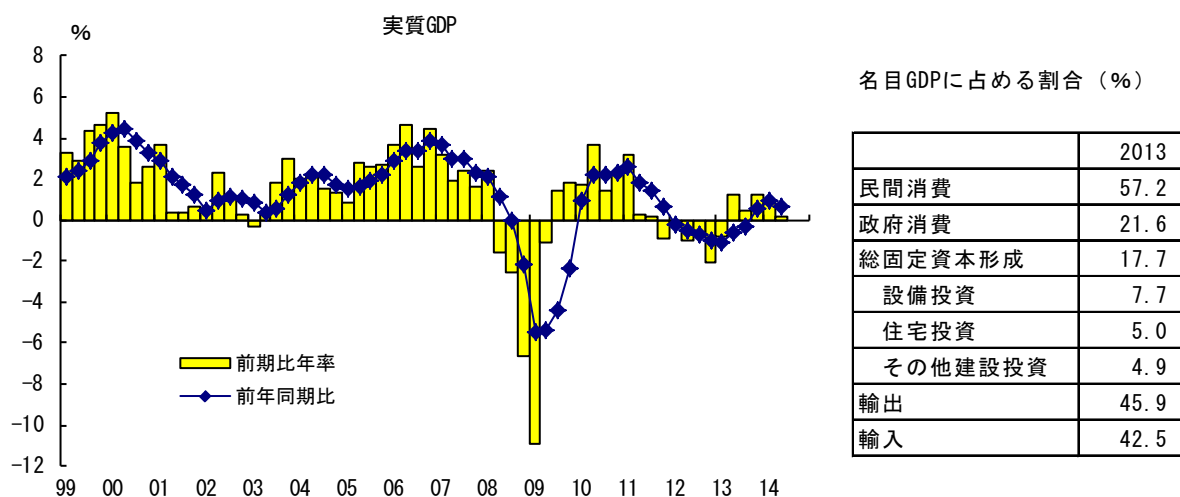
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q2のGDP成長率(2次推計)は前期比横ばいと速報から修正なし。個人消費は同+0.3%とプラス成長が続く
- 総固定資本形成は同-0.3%と5四半期ぶりのマイナス。設備投資は同プラスに転じたが、住宅投資及びその他建設投資が同マイナス転落。住宅投資は09年Q2以来のマイナス幅
- 輸出の加速、輸入の減速により、純輸出寄与度はプラスに転じた



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率 (前期比: %)

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.8	0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0
個人消費	0.2	-0.5	0.3	-0.7	-0.3	-0.5	-0.1	-0.5	-0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3
政府消費	-0.2	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.2	-0.3	0.1	0.2	0.0	0.3	-0.3	0.7	0.2
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.3	-0.7	-1.0	-1.8	-0.6	-1.4	-1.6	0.1	0.5	0.9	0.2	-0.3
設備投資	2.1	0.1	0.4	-1.1	-0.9	-2.1	-0.4	-1.1	-0.9	0.6	0.1	2.0	-0.1	1.9
住宅投資	2.8	-1.0	-1.3	-0.5	-0.2	-1.4	-0.8	-1.8	-1.4	-0.5	1.0	-0.3	0.9	-2.4
その他建設投資	2.6	-1.4	-0.5	-0.3	-2.0	-1.7	-0.5	-1.4	-2.8	0.0	0.5	0.5	0.0	-1.8
輸出	1.7	0.4	1.3	0.3	0.9	0.9	0.7	-0.6	-0.8	2.3	0.1	1.4	0.1	0.5
輸入	1.6	-0.1	0.5	-1.1	0.1	-0.1	0.2	-1.0	-0.8	1.6	1.1	0.7	0.8	0.3

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度 (前期比: %)

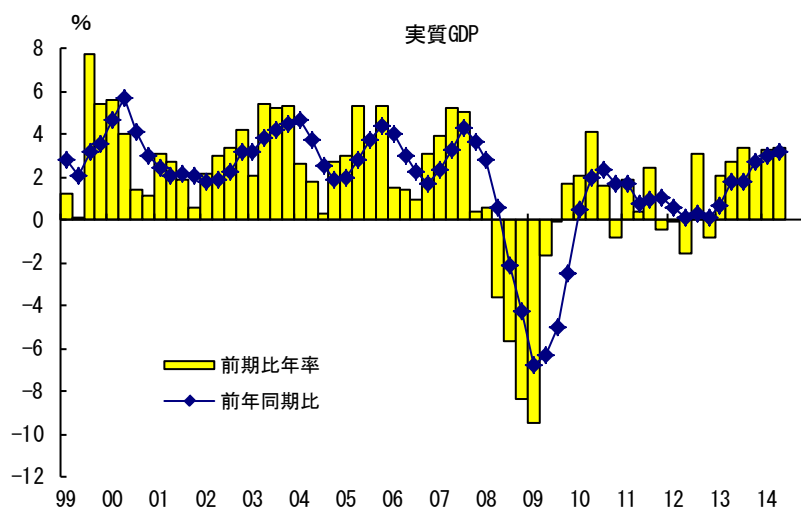
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.79	0.07	0.04	-0.23	-0.07	-0.26	-0.15	-0.53	-0.20	0.31	0.12	0.30	0.22	0.03
個人消費	0.09	-0.31	0.15	-0.38	-0.14	-0.31	-0.07	-0.29	-0.13	0.09	0.09	0.04	0.10	0.16
政府消費	-0.04	0.02	-0.06	0.04	-0.07	-0.04	-0.05	0.02	0.04	0.01	0.06	-0.07	0.15	0.03
総固定資本形成	0.46	-0.12	-0.07	-0.13	-0.19	-0.33	-0.10	-0.25	-0.29	0.02	0.09	0.17	0.04	-0.06
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.09	-0.08	-0.18	-0.04	-0.09	-0.08	0.05	0.01	0.16	-0.01	0.16
住宅投資	0.14	-0.05	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.09	-0.07	-0.02	0.05	-0.02	0.05	-0.12
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.02	-0.02	-0.10	-0.08	-0.03	-0.07	-0.13	0.00	0.02	0.02	0.00	-0.08
在庫変動	0.22	0.27	-0.33	-0.32	-0.05	-0.02	-0.16	-0.14	0.20	-0.18	0.30	-0.20	0.22	-0.21
輸出	0.73	0.16	0.57	0.12	0.40	0.41	0.33	-0.28	-0.35	1.04	0.06	0.64	0.04	0.21
輸入	-0.65	0.04	-0.21	0.45	-0.03	0.05	-0.09	0.42	0.32	-0.65	-0.45	-0.27	-0.32	-0.11
純輸出	0.08	0.21	0.36	0.57	0.38	0.45	0.24	0.13	-0.03	0.39	-0.39	0.36	-0.28	0.10

出所: Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。このレポートに掲載されているデータは、14年1月以前も18か国ベース（Eurostatが18か国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 14年Q2のGDP成長率（2次推計）は前期比+0.8%と拡大が続く。速報値と変わらず
- セクター別で見ると、サービス業が前期比+1.0%となり、最大寄与となった。鉱工業は特にエネルギー生産が大きく増加し、同+0.3%。建設業は前期比横ばい
- 需要項目別の内訳は、9月30日に発表予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.5	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	0.9	0.3	0.7	0.3	0.7	-
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	-0.1	-0.0	-
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	1.0	3.2	2.4	1.3	2.4	-
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-6.4	8.0	1.5	-0.5	-7.8	-
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.8	3.0	1.5	5.0	-
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.2	7.8	0.9	1.3	2.7	-
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-0.6	2.4	-2.6	0.9	-0.1	-
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	-0.0	-2.3	2.4	1.1	-1.3	-1.2	-

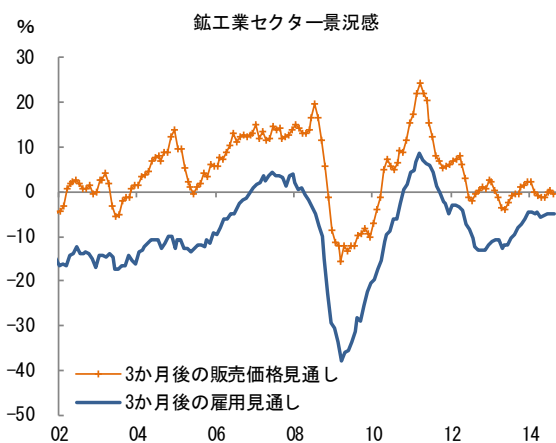
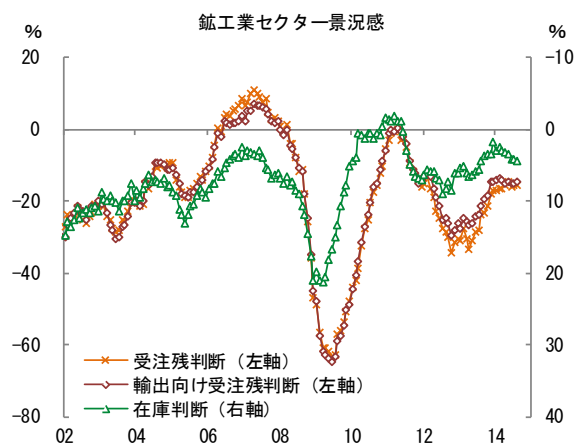
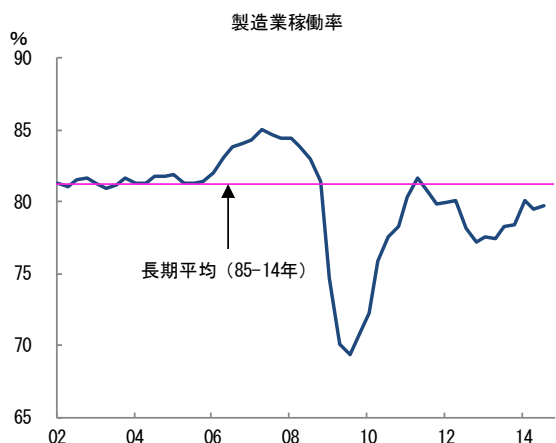
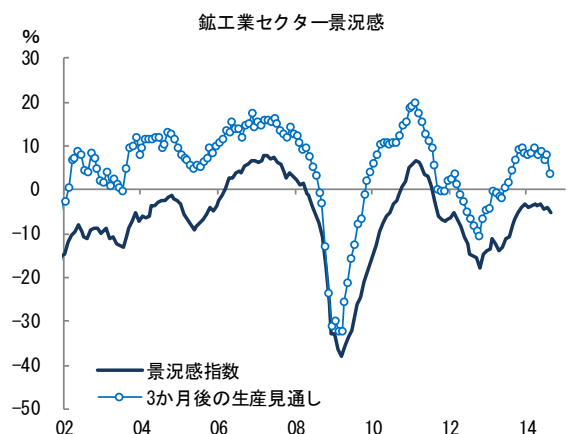
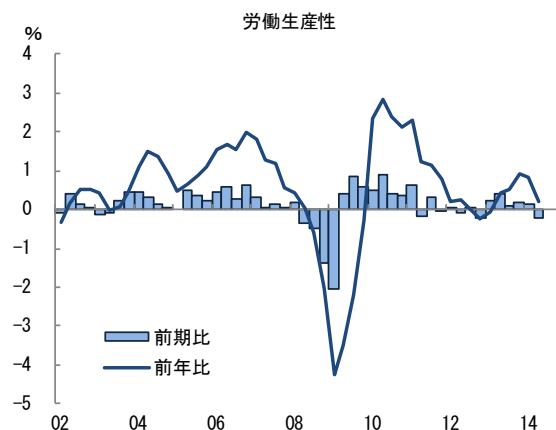
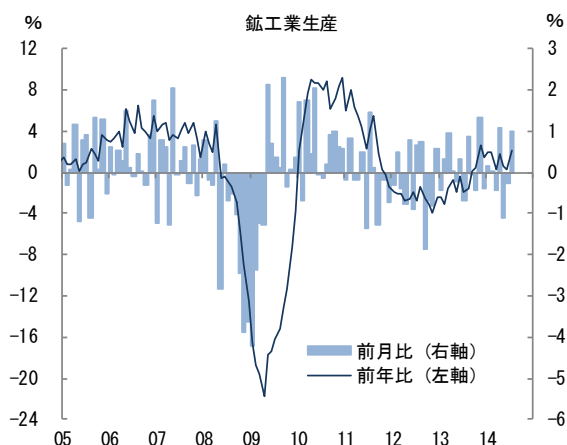
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.52	0.67	0.83	0.65	0.81	0.83
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.59	0.23	0.47	0.17	0.46	-
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.11	0.31	0.13	-0.02	-0.01	-
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.14	0.44	0.33	0.19	0.34	-
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.13	0.15	0.03	-0.01	-0.16	-
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.06	0.24	0.12	0.41	-
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.01	0.23	0.03	0.04	0.09	-
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.28	1.09	-0.39	-0.31	-
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.19	0.75	-0.82	0.26	-0.03	-
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.75	-0.76	-0.37	0.44	0.37	-
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.56	-0.01	-1.19	0.70	0.35	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比でプラスに転換し+1.0%、前年比は+2.2%と大きく加速。共に、製造業（特に輸送用機器、化学）が大幅に増加した
- 8月の鉱工業セクター景況感は前月比で悪化。3か月後の生産見通しの悪化が響いた
- 14年Q2の労働生産性は前期比-0.2%と12年Q4以来のマイナスに転落。前年比では+0.2%とプラス成長を維持するも、2四半期連続の低下となった

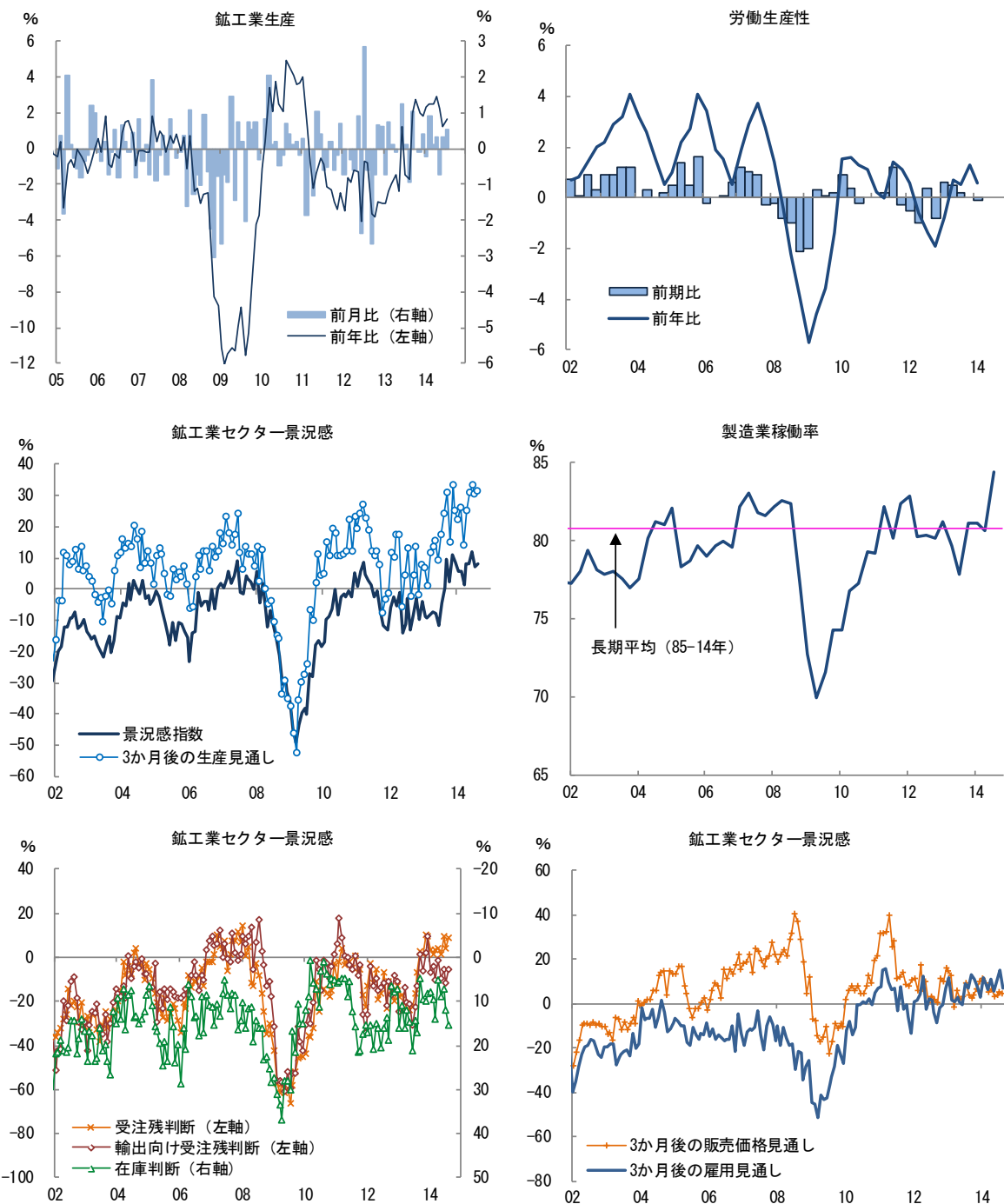


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 7月の鉱工業生産は前年比+1.7%。電気・ガスが13年4月以来のプラスに転換、製造業（特に化学）も加速した。前月比でも電気・ガスの生産増が大きく寄与し+0.5%となった
- 8月の鉱工業セクター景況感は前月比改善。構成項目である、3か月後の生産見通し及び受注残判断が改善。一方、在庫判断は悪化が続く
- 3か月後の販売価格見通し及び雇用見通しは、共に悪化に転じた

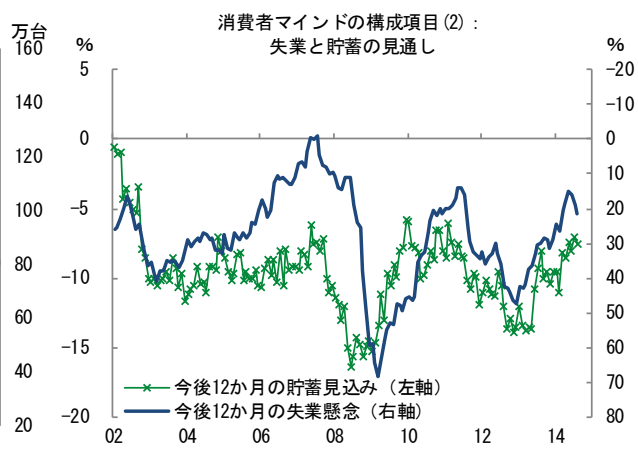
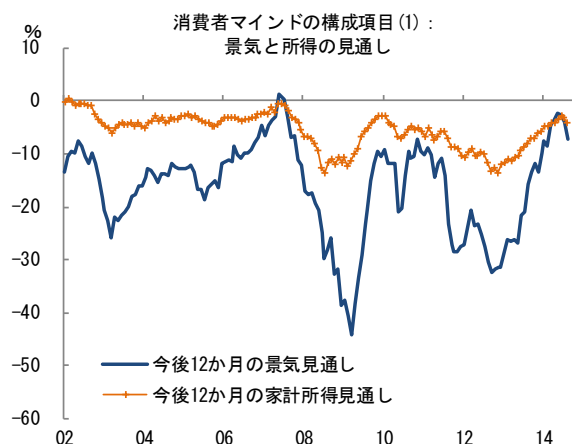
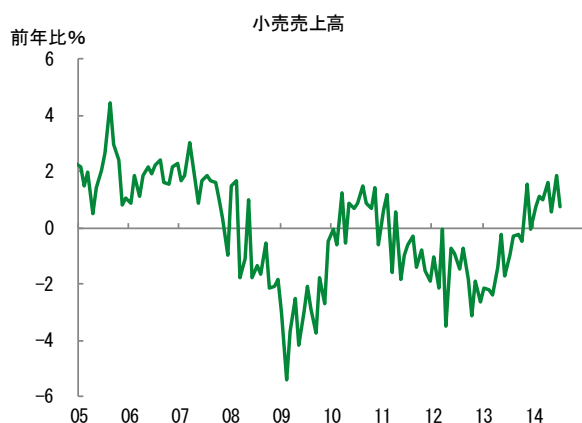
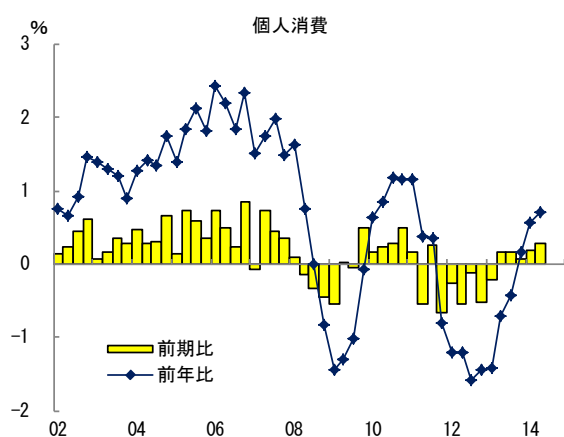


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 7月の小売売上高は前年比+0.8%と再び減速。食品・飲料・たばこが前年割れに転じ、自動車燃料の減少幅も大きく拡大した
- 新車登録台数は7月に前年比+4.5%に加速したが、8月に9か月ぶりの前年割れを記録
- 8月の消費者マインドは前月比悪化が続く。今後12か月の景気見通しの悪化が目立つ

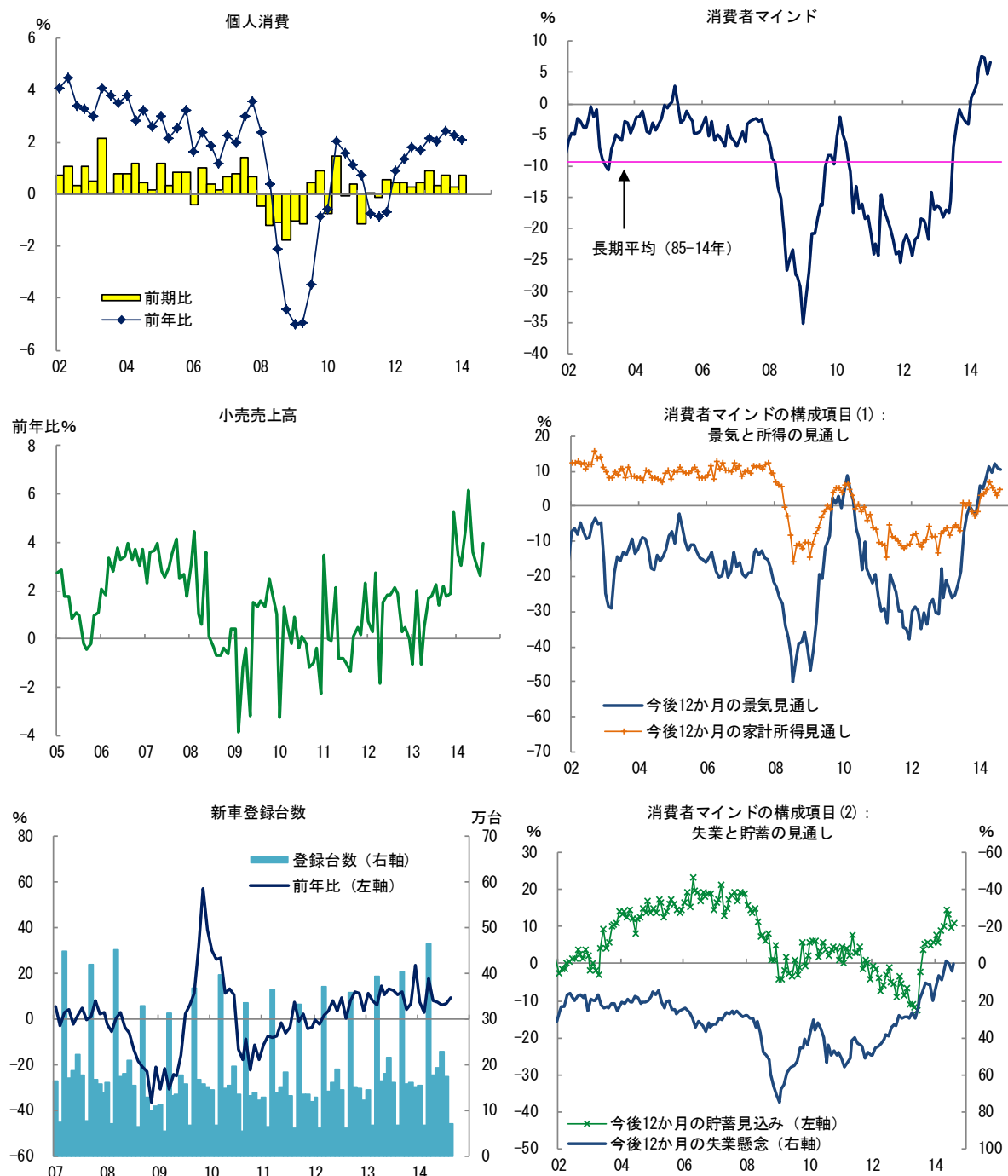


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 8月の小売売上高は非食品セクターの加速により前年比+4.0%に回復したが、食品及び自動車燃料セクターは2か月連続の前年割れとなった
- 8月の新車登録台数は前年比+9.4%に加速し、増加基調が続く
- 8月の消費者マインドは3か月ぶりに前月比改善。家計所得見通しの改善が目立つ

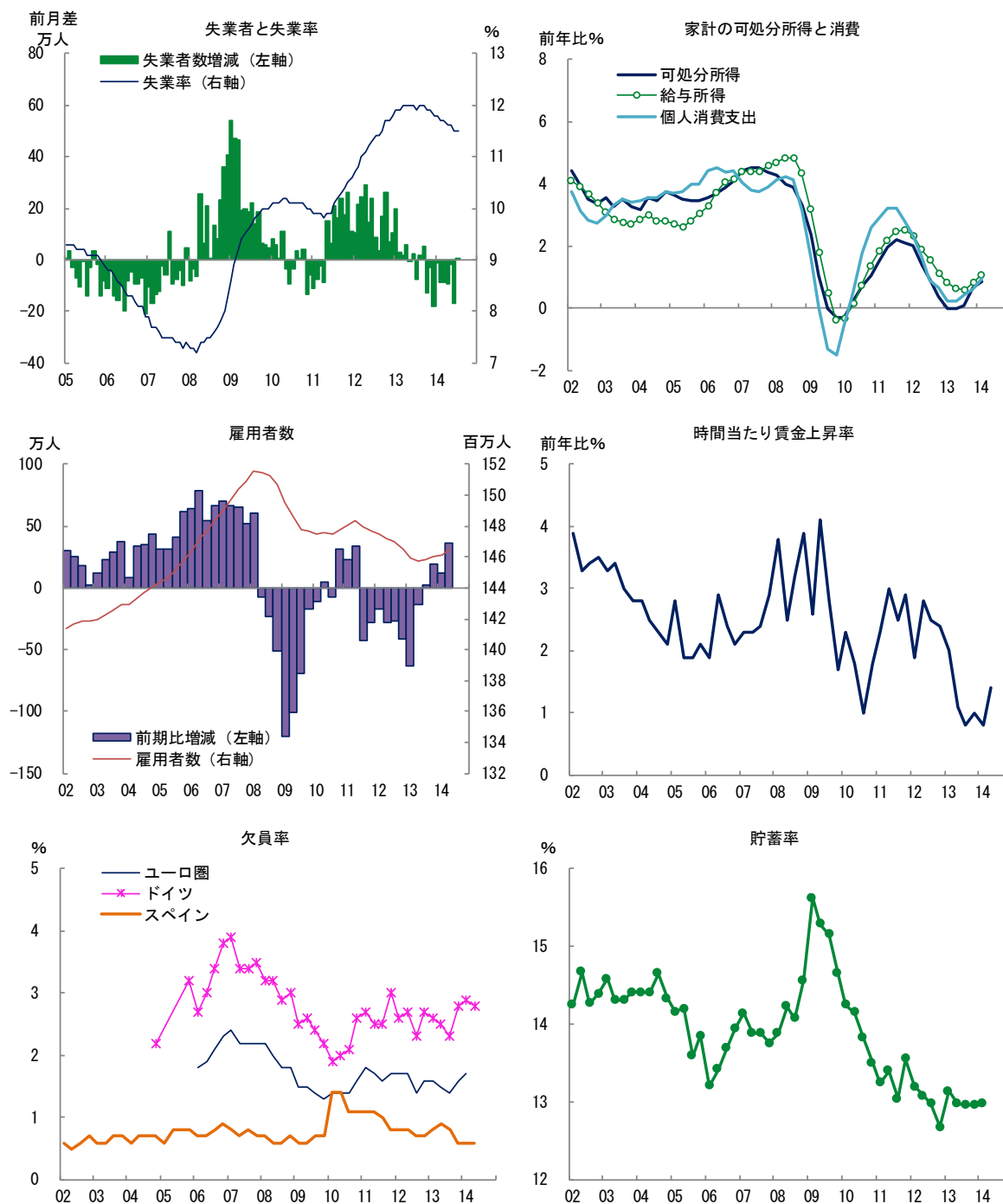


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 7月の失業率は11.5%と6月と変わらず。失業者数は、前月比+4千人と13年9月以来の増加に転じた
- 14年Q2の雇用者数は前期比+36万人と08年Q1以来の大幅増。貿易・旅行・飲食サービス及び製造業での増加が大きく寄与した
- 14年Q2の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.4%と13年Q1以来の大幅な上昇を記録

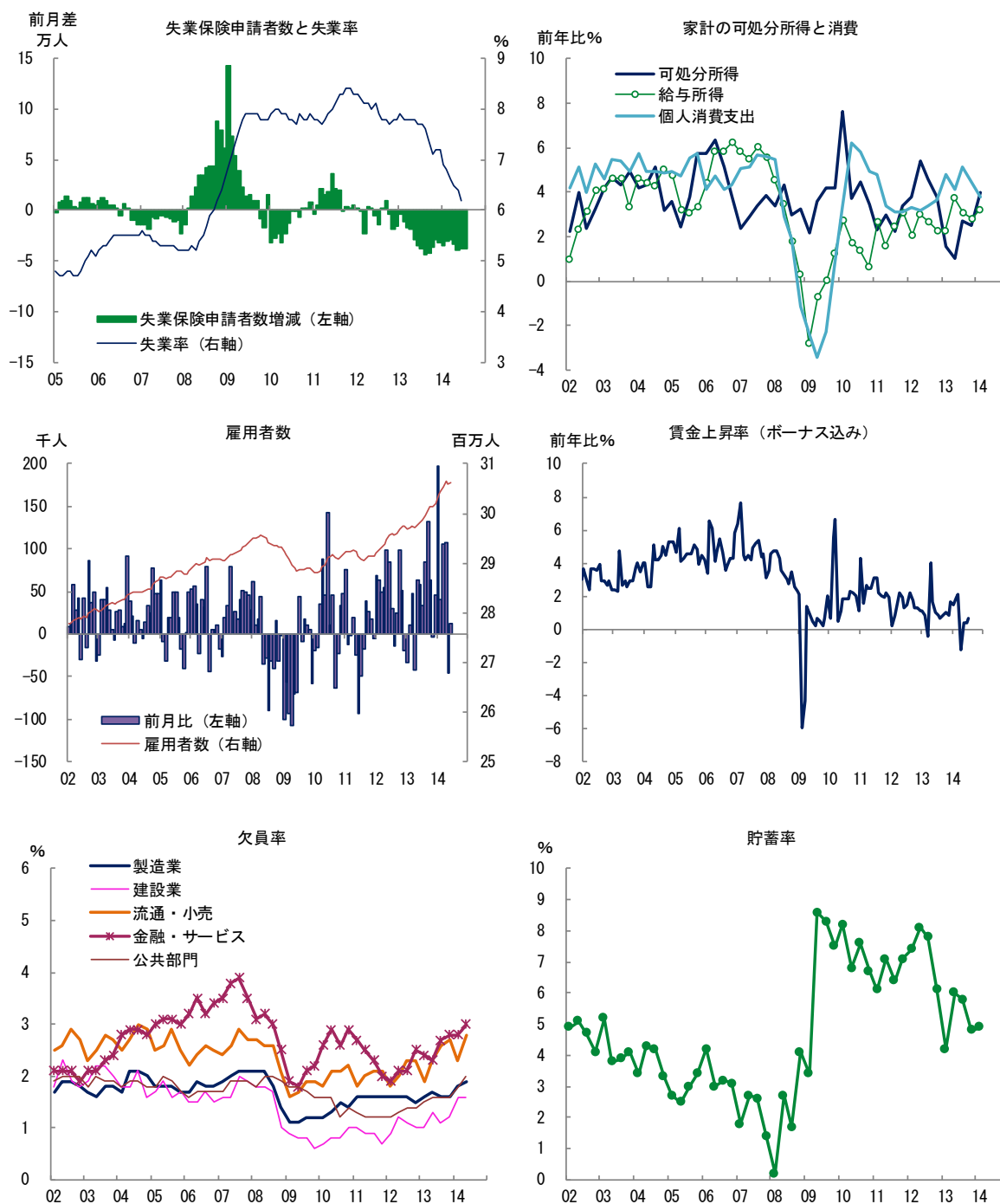


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 5-7月の失業率は6.2%と08年10月と同水準まで低下。雇用者数は4-6月比+1万2千人と再び増加に転じた。労働力人口は減少が続く
- 8月の失業保険申請者数は、前月比での減少が継続
- 7月の賃金上昇率は前年比+0.6%とやや加速。公的部門の上昇率が前年割れを脱した

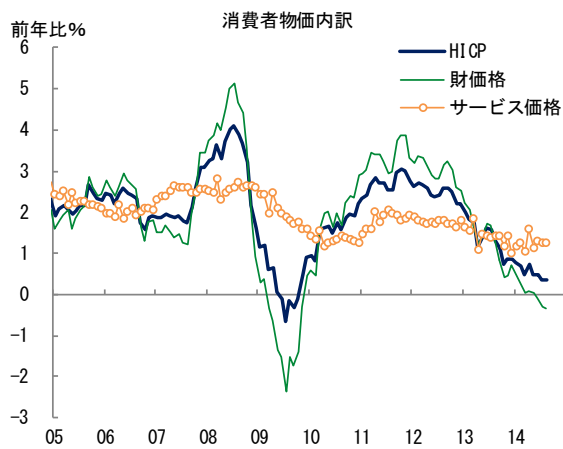
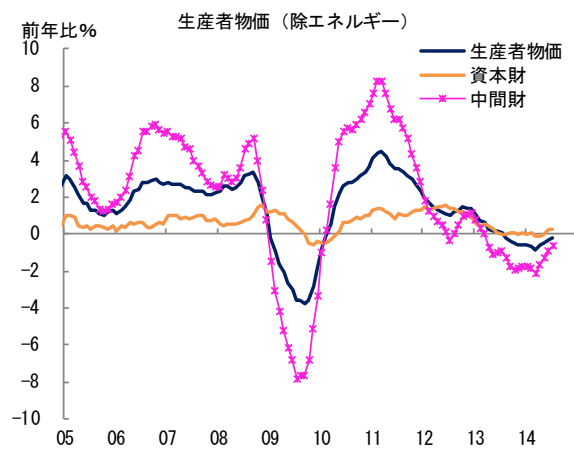


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

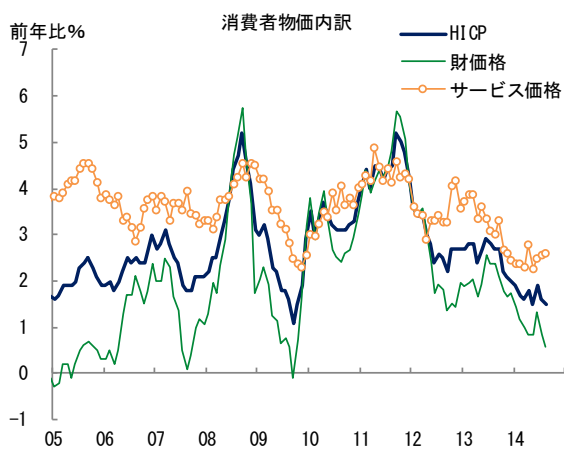
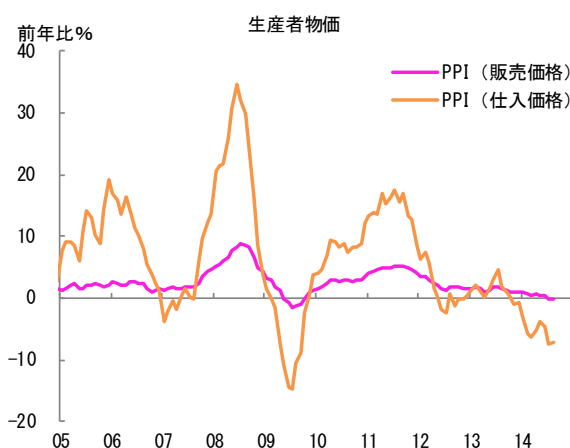
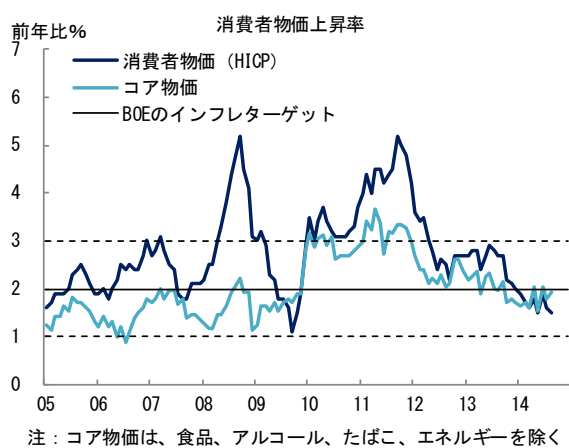
- 8月の消費者物価(HICP)上昇率は前年比+0.4%と7月から変わらず。コア物価は同+0.9%に上昇。一方、エネルギー価格は同-2.0%に下落
- 7月の生産者物価は前年比-0.2%と前年割れが継続。ただし、資本財物価は2か月連続のプラス
- 8月の原油価格(北海ブレント)は前月比で下落。ユーロの名目実効為替レートは5か月連続の前月比下落



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

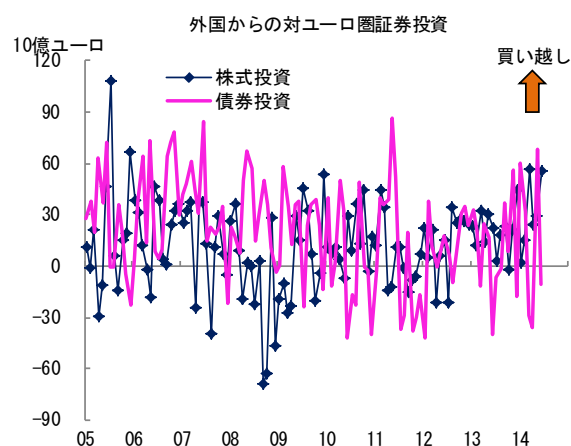
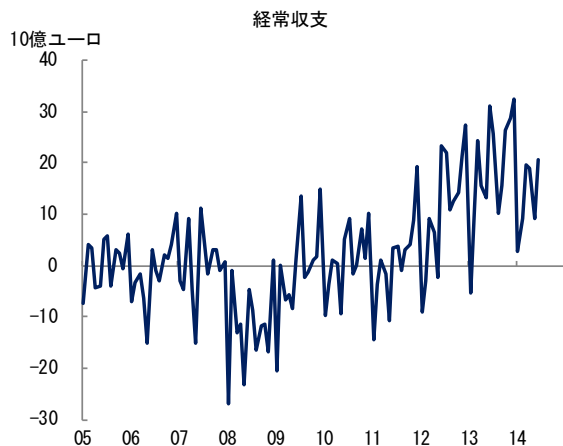
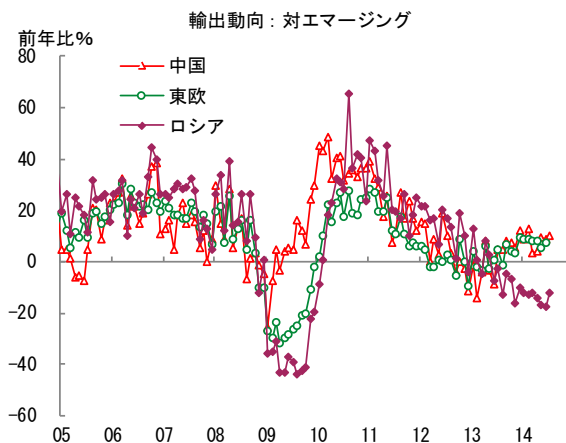
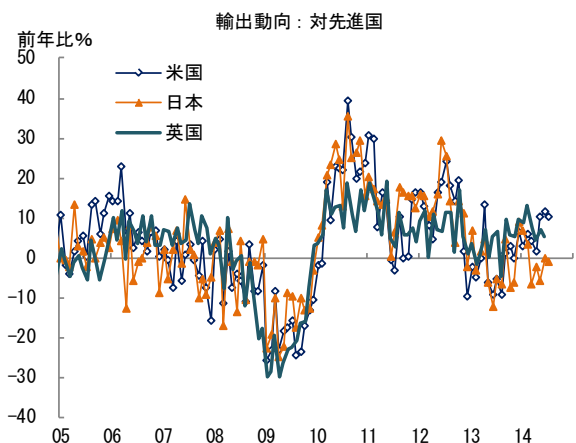
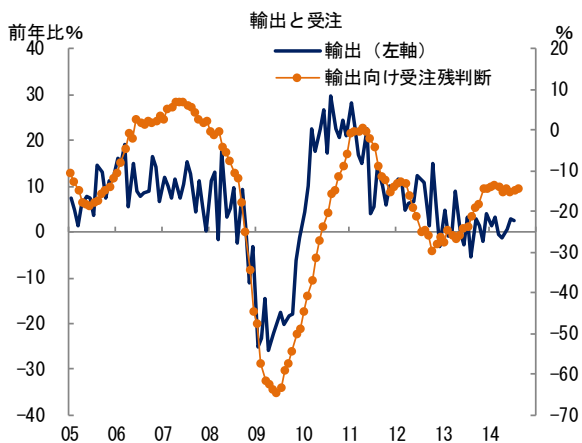
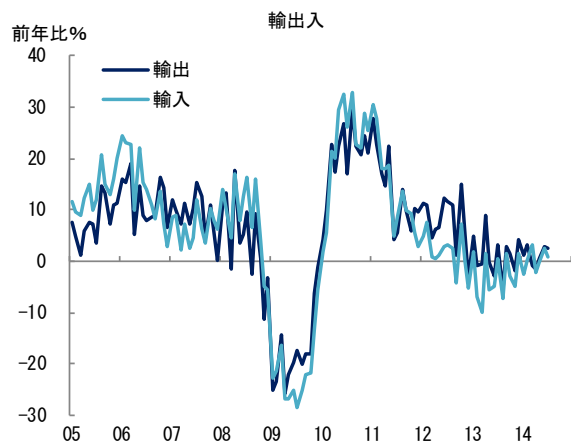
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.5%と2か月連続の伸び鈍化。食品・飲料価格の低下が主要因。コア物価は同+1.9%と7月よりわずかに上昇
- 8月の生産者物価上昇率は、販売価格が前年比-0.3%と2か月連続のマイナス。7月と同様、石油製品価格の下落が主要因。仕入価格は原油価格の更なる低下により同-7.2%
- 7月の輸入物価上昇率は前年比-5.4%と低下幅が拡大。ポンドの名目実効為替レートは8月に前月比で下落に転じた



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

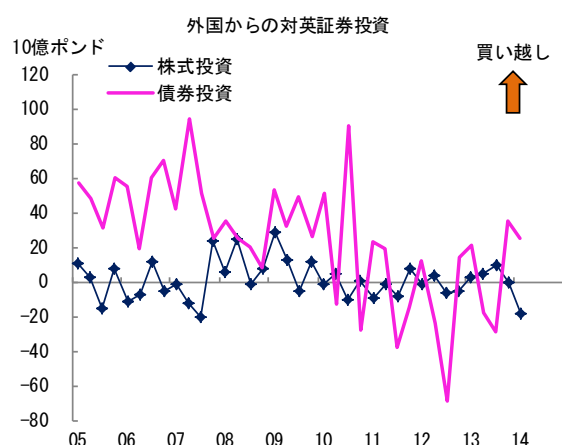
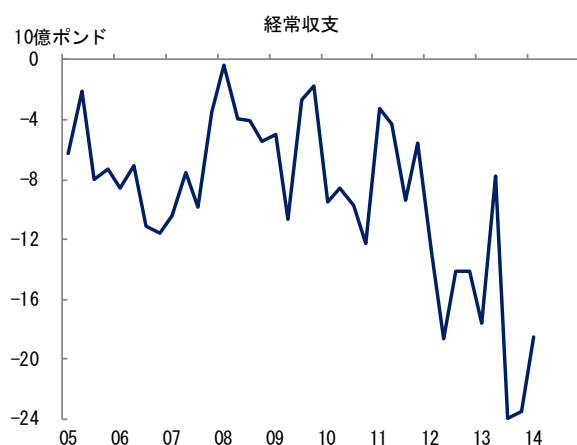
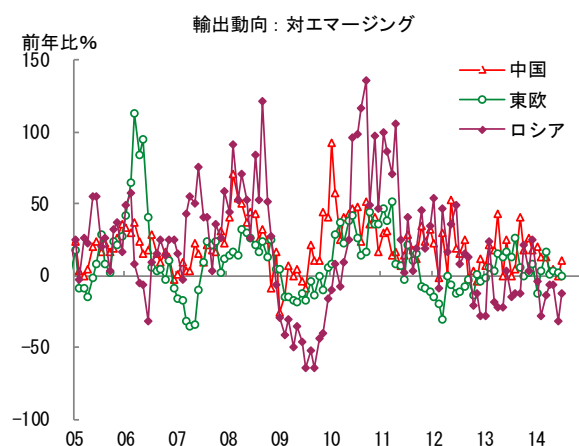
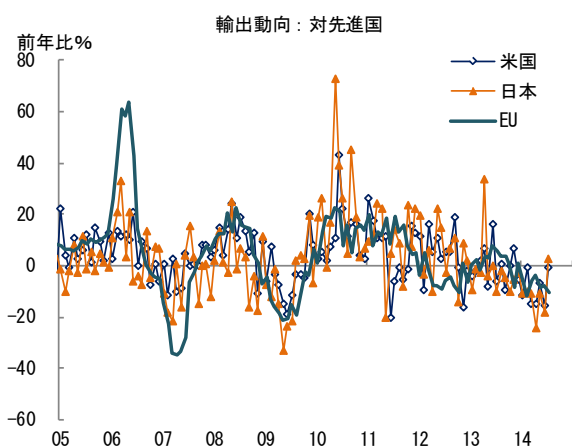
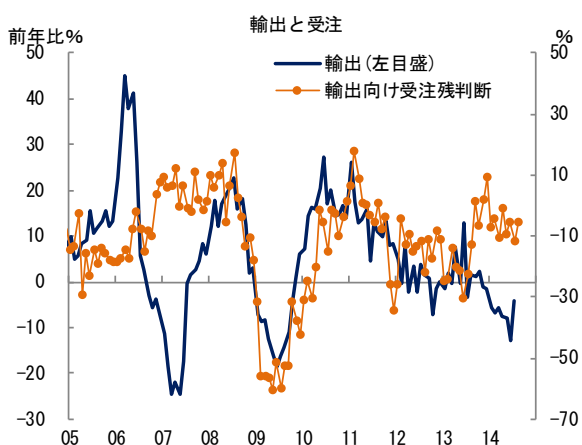
- 7月の輸出は前年比+2.6%に減速。天然資源の減少幅拡大及び工業製品の減速が主要因。輸入は工業製品（主に機械・輸送用機器）の減速により、同+0.8%となった
- 国別輸出動向をみると、米国及び中国向けは堅調な増加が続く。日本向けは5か月連続、ロシア向けは14か月連続の減少
- 8月の輸出向け受注残判断は前月比ほぼ横ばい



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 7月の輸出は前年比-4.2%と6月の同-12.7%から減少幅が大きく縮小。原材料はほぼ1年ぶりに前年割れから脱し、食品・飲料・たばこ及びその他もプラスに転換した
- 輸入も同-1.9%と減少幅縮小。工業製品及びその他が前年割れを脱し、プラス寄与となった
- 7月の国別輸出動向を見ると、日本向けが13年4月以来の前年比プラスに転換。減速傾向にあった中国向けは加速。一方、ロシア向けは減少が続く



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成